

感染症をめぐる 国際政治のジレンマ

科学的なアジェンダと政治的なアジェンダの交錯

新型コロナウイルス・パンデミックのような非伝統的な脅威に対し、国家を超える共通政府を持たない国際社会はいかに立ち向かうべきか。政治学の視点から、感染症の脅威から人類を守るための政治や行政の役割について考察する。

「COVAXファシリティとワクチン外交」

勝間靖（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

「COVID-19ワクチンをめぐる公衆衛生と知的財産権保護の相克」

古城佳子（青山学院大学国際政治経済学部教授）

「パンデミックの比較政治学」

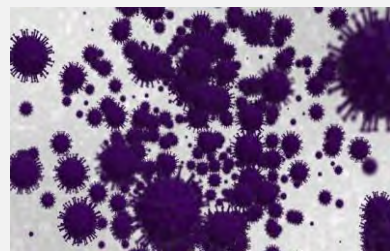
竹中千春（立教大学法学部教授）

「コロナ禍と欧州のジレンマ」

羽場久美子（神奈川大学国際日本学部教授）

「新型コロナウイルス感染症への日本の対応と課題」

城山英明（東京大学公共政策大学院教授）



コーディネーター・司会 山田高敬（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

2022年2月6日（日） 13:30～17:15

オンライン開催

どなたでも参加できます。

下記のURLまたは右のQRコードからお申し込みください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>



問い合わせ先

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

電話：03-3403-6295

内容に関する問い合わせ先

山田高敬(名古屋大学) yamada.takahiro@k.mbox.nagoya-u.ac.jp

主催 日本学術会議